

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 御中

提出日:令和 5年 1月 17日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300110			
事業所名	ケアホーム・里の手			
法人名	医療法人 英然会			
代表者名	里見 隆彦			
事業所所在地	(〒871-0024) 中津市中央町 1-8-29			
担当者名	堀江 剛			
連絡先	電話	25-3100	FAX	25-3105
	mail	satonote@eizenkai.jp		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	新型コロナウイルスの影響で会議が開催されなかったため、アンケート結果と意見の聞き取りにて評価しました。 実施日:令和 4年 11月 21日
-----------------	--

「**※要提出**」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)
・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護
・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、 吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松
-------------------	------	--------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	5	0	0	11

前回の改善計画	今後も送迎時間に余裕を持って家族からの情報収集につとめ、知りえた情報は申し送りノートに記入し、職員間で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	余裕のある送迎スケジュールで家族と話をする機会ができています。そこで得た情報については申し送りノートで共有ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	4	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	6	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アセスメントの確認、ミーティング、ケアマネジャー等から情報を得ている。利用者本人、家族から得た情報を申し送りノートで共有し、本人、家族の不安や困りごとに対応し安心して過ごせるように配慮している。家族に通所時の過ごし方等を伝えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
時間に余裕を持って臨めず、家族の話聞くことができなかった。経験不足による本人や家族への安心感の不足があるため、信頼関係を築けるように時間をかけていく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者本人の状態をスタッフ全員が把握し、家族や介護者に正確に伝えられようになることで、本人、家族の不安軽減につなげられるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
------------------	-----	------------------------

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松
-----------------------	------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	0	0	11

前回の改善計画	今後もケアプランの課題、目標を個人のバインダーにわかりやすくはさんでおき、職員がそれぞれがすぐに確認できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランは日常的にいつも確認できるよう、個人記録のボードに挟むようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	8	1	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	1	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	1	0	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	6	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングを行い職員間で情報を共有している。本人が何をしたいかを話し合っている。個人のバインダー等でケアプラン確認し目標に沿ってサービスができています。問題点、変化があれば申し送り等に記入し、話し合い、介護の方針を変更している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々の業務の中で一人一人の目標や課題を把握できていない。またスタッフ同士で共有することができなかつた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 個人のバインダーにはさんでいるケアプランの課題、目標を、職員全員が把握できるようにしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、 吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	4	1	0	11

前回の改善計画	本人や家族から今までの生活歴を教えてください、情報の共有をする。 本人との関りの機会を増やし、日常生活等の情報収集を行う。 知りえた情報は申し送りノートに記入し、その後はアセスメントにも残して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、家族、近隣の方等から得た情報は申し送りノートに記入し、情報の共有化をおこなってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	5	0	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	5	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	1	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者に関わり表情、状況、体調等を確認し変化等ある場合は話し合いをしている。日々の変化を職員に伝え、申し送りノートに記入している。またミーティングで話し合い共有している。利用者、家族と話をして関りを作っている。情報を積極的に集め職員間で共有している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 特に一人暮らしや家族が遠方にいる利用者の以前の暮らし方を10個以上は把握できていない。話し合う機会も少ない。新規利用で不安、帰宅願望の強い方の対応が難しい。業務に追われ利用者の家族とゆっくり話すことができなかった。家族のニーズに答えてあげられなかったことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自宅での生活を理解するため以前の暮らし方が把握しやすいように記録用紙を作り共有していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	7	4	0	11

前回の改善計画	新型コロナウイルスの影響で制限はあるが、把握した地域資源を少しでも利用できるように努めていく。地域との社会資源にかかわる情報を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスの影響で地域とのつながりが薄くなっている中でも、限定的ながらも地域資源を利用することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7	4	0	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	7	0	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	8	0	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	11	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、家族、ミーティング等から情報を得て、家族や近隣の方との関係等把握している。地域のお祭り、ドライブ等へ感染に気を付けていくことができた。地域にどういった資源があり、どう利用できるか把握している。家族の来所時は離れたところからでも顔をみてもらうようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新型コロナウイルスの影響で地域の方との関係が希薄になっている。地域資源について知識不足があり利用できていないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルスの影響で地域とのつながりが希薄になっているが、利用者一人一人の地域資源について把握できるように話し合い、共有できるようにしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、 吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	0	0	11

前回の改善計画	本人、家族のニーズをしっかりと把握し、家族とのかかわりが少なくなならないようにサービスを提供していく。地域の社会資源に職員が関心を持ち理解を深めるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、家族のニーズを確認し、自宅になかなか帰宅できない方も家族とのかかわりがもてるような支援をすることができた。地域の社会資源については把握が十分でないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	10	1	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	1	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	1	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	1	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせ本人、家族のニーズに合わせた支援を行っている。必要時は家族にも協力してもらうことができている。利用者に関する小さなことでも情報共有できている。短時間でも自宅でも過ごせるようにしている。急な体調変化があった場合でも通いの延長、宿泊サービス等で対応ができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新型コロナウイルスの影響で地域との協力が難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルスの影響で地域とのつながりが希薄になっているが、できる限り地域資源を利用し支援ができるよう資源の把握、共有に努めていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
6. 連携・協働	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	4	1	11

前回の改善計画	ICTを活用し会議の参加や地域との交流機会を増やしていく。 インターネットなどをうまく利用して会議やイベントに参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ZOOMを活用して会議、研修等への参加は回数が少ないものの機会があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	3	1	5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	8	2	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	7	3	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	1	6	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 必要であれば他のサービス機関とオンライン等も利用し会議等に参加できる体制が整っている。 ZOOMを利用して退院時カンファレンスに参加することができた。 小学生が学校帰りに立ち寄り、事業所内の様子や利用者さんの顔を見に来所したことがあった。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新型コロナウイルスの感染予防の面で地域との交流が難しい。 新型コロナウイルスの影響で自治体活動、イベント、会議、運営推進会議等の地域の方との交流がほとんどできなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 今後もICT等を活用しながら会議の参加や地域との交流機会を増やしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
7. 運営	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、 吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	1	3	11

前回の改善計画	新型コロナウイルスの影響で地域との共同した取り組みは難しいが、状態が落ち着けば今までおこなってきた夏祭りなどのイベントを再開していきたい。 利用者、家族の意見がより運営に反映できるよう、意見を出しやすい関係を構築する。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族からの意見については運営に反映できている。 新型コロナの影響があり、地域の方からの意見を伺う機会が限定的になってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	8	0	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	5	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	1	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	2	7	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族の意見や苦情については職員間ですぐに話し合い対応している。またミーティング、委員会等でも話し合いを行い、より良い対応ができるように努めている。 意見や要望が取り入れやすくなる体制になっているので意見を出しやすい。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方と共催で行う夏祭りは新型コロナウイルスの影響で今回もできなかった。地域住民との交流がほとんどできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルスの影響で地域との共同した取り組みは難しいが、状態が落ち着けば今までおこなってきた夏祭りなどのイベントを再開していきたい。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	1	0	11

前回の改善計画	オンラインでの研修や会議へより参加できるよう職場環境の整備をおこなう。
前回の改善計画に対する取組み結果	ZOOMを使用しオンラインでの研修参加をおこない、ミーティングでフィードバックしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	7	1	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	1	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	9	2	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	3	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ZOOMを使った研修、会議への参加機会が増えており、新型コロナウイルスの影響で機会の減っていた分を補えている。 介護時に事故、ヒヤリハットがあった場合は、改善案を出し職員全員で改善に取り組んでいる。 法人内で研修の資料を配布し、ミーティングで話し合ったり、アンケートをとるなど、資料に目を通すだけでなく取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会議が開催されていない。 新型コロナウイルスの影響で参加できないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
オンラインでの研修や会議に、より多くの職員が参加できるよう職場環境の整備をおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年9月28日(19:30~20:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	堀江、田中、中野、牧坂、中畑、 吉田、今池、松本、中嶋、武本、友松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	1	0	11

前回の改善計画	成年後見制度が必要な方が利用された場合にそなえ、今後も定期的に研修をおこない、制度の理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	年に1回法人内のリスクマネジメント委員会主催で研修をおこない、成年後見制度についての理解を深める機会ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	0	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	11	0	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	2	7	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10	1	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 成年後見制度の研修に参加することができた。 法人内研修、ミーティングで話し合いができていて身体拘束、虐待、人権・プライバシーの侵害等をする ことなく安全に利用者の支援ができています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度を活用する利用者がいなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 成年後見制度が必要な方が利用された場合にそなえ、今後も定期的に研修に参加し制度の理解を深めていく。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 英然会	代表者	里見 隆彦	法人・ 事業所 の特徴	母体が診療所であり体調悪化時や急変時などの対応ができ安心した暮らしができるように医師と連携を図り、最期までご自宅で暮らせるように看取りケアの取り組みもしている。 また、事業所では利用者、御家族の方が笑顔で安心して過ごせるように1人1人のニーズに合わせて問題点を共有し家庭的な雰囲気介護支援が行えるようにしている。
事業所名	ケアホーム・里の手	管理者	堀江 剛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	新型コロナウイルスの影響で会議が実施できなかったため、アンケート結果と、アンケート回収時にうかがった意見を元に総括をおこなった。									

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフはできていないこと、困難なことを自ら把握し、チーム内で話し合い、どうすべきかを向上心を持って日々対応している。 今後も職場内で困ったことはすぐに相談できる体制を継続し、よりよい介護を目指していく。	ミーティング、委員会を通して家族や地域の意見や苦情について話し合い、共有し改善、対応している。ミーティング等の話し合いの場で職員の意見が出しやすい環境になっており、そこで出た意見、要望等に対し対応ができています。	新型コロナウイルスの影響で仕方ないとはいえ、地域との交流機会があまりなく難しいですねとの意見があった。困ったことに対しての相談はしやすい体制になっており、相談に対して共有できる場所は、申し送りノートやミーティングを通して共有している。	継続した自己評価により事業所や個々の質の向上に努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	今年度はコロナ禍で前回の改善計画を実行できなかったが、引き続き玄関前のスペースを有効活用し、立ち寄りやすい雰囲気づくりを継続する。	新型コロナウイルスの影響で、面会制限を行ったこともあったが、制限のない時にはできる限りご家族との面会ができるよう玄関前スペースの活用を行った。	今は新型コロナウイルスの影響で気軽に立ち寄れない状態ですが、行きやすい場所ですとの意見があった。	新型コロナウイルスが落ち着いて来たときのために、玄関周りを清潔で明るい場所に保ち、立ち寄りやすい雰囲気づくりを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルスの影響で、今年度も地域との交流がほとんどできなかった。挨拶は継続していき、落ち着きを見てから夏祭りなどを再開したい。	近隣の方への挨拶や小さな交流はあるが、夏祭り等のイベントの再開はできなかった。	こんな状況では夏祭りはまだできないのは仕方がないですね。会議もなかなかできませんねとの意見があった。	地域の方に事業所の活動等を知ってもらうため、挨拶を継続し交流を深めていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルスが落ち着いてから外出や散歩の機会を増やしていく。	新型コロナウイルスが落ち着いたときにドライブ等の外出行事や散歩などを行った。	よく外へ連れて行ってくれているのは分かっていますとの意見があった。運営推進会議が再開できませんねとの意見があった	地域の行事、イベントに参加していることをもっと知っていただけるよう、広報紙等を活用していく。

E. 運営推進会議を生かした取り組み	<p>新型コロナウイルスが落ち着いてから意見交換の場を作っていく、地域に向けた取り組みを行っていく。</p> <p>運営会議のメンバーとの意見交換の場をできるだけ持ち、地域からの意見を取り入れていく。</p>	<p>運営推進会議の開催が現在できていない状況であるが、意見徴収をし、今何ができるのかを模索している状況である。</p>	<p>2か月に1度は報告書を通じて里の手の状況がわかるようになっていきます。</p> <p>運営会議は新型コロナウイルスの影響でなかなか再開できませんねとの意見があった。</p>	<p>運営会議の場以外でも運営会議メンバーに里の手の状況をわかりやすく報告し、意見を運営に取り組めるよう努めていく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>定期的な訓練とは別に日頃から避難誘導などの救助法（介助法）を研鑽していく。</p>	<p>防災・災害対策として、定期的な訓練以外のものはあまりできなかった。</p>	<p>以前、里の手の防災訓練に参加してもらいました。災害があった時は職員のこともしっかり知っているし頼りになると思います。</p>	<p>定期的な訓練とは別に災害発生時の対応方法等を研鑽していく。</p>